

88. 英雄たちの「三国志」

『三国志』について深浅はあれ、小説、漫画、映画等愛好者が多い。しかし、考えてみれば不思議な話で、約1800年前の中国の歴史を語る「書物」である『三国志』が、「現代日本」においても広く知られているのは何故なのか？「日本人が古くから三国志を愛好して来たら」であるが、その魅力を10回の講義で説明する。

開催日： 月曜日 時間： 14時～16時 大阪歴史博物館 定員 80名

回	月	日	テーマ	内容	講師
1	5	10	二つの三国志	「三国志」世界を構成する二つの書物、『正史三国志』と『三国志演義』について概説します。	竹内真彦 (龍谷大学教授)
2	5	24	董卓	外戚と宦官の対立によって混迷を深めていった後漢王朝に実質的にとどめをさしたのが董卓でした。その董卓に董卓に注目しつつ、168年から189年までを扱います。	同上
3	5	31	呂布	三国志最強と謳われる呂布。彼は同時に2度までも主君を殺した「裏切り者」でありました。彼の行動原理を追いつつ、189年から196年までを扱います。	同上
4	6	14	孫策と孫権	三国の一つである「呉」の基盤を作ったのは孫策と孫権でした。彼ら兄弟の動向を中心に194年から207年までを扱います。	同上
5	6	28	曹操	時代の牽引者であり、三国の一つ「魏」の創始者というべき曹操を中心に、彼が中国統一に失敗する「赤壁の戦い」(208年)までを扱います。	同上
6	7	12	劉備と諸葛亮	三国最後の一つ「蜀漢」の初代皇帝劉備。彼が赤壁の戦い以後、如何にして蜀漢を建国したかに着目します。取り扱うのは209年から223年まで。	同上
7	7	26	司馬懿とその子孫たち	魏・蜀漢・呉の三国に分裂した中国は最終的に統一したのは三国のいずれでもなく「晋」でした。この晋を建国した、司馬懿・司馬師・司馬昭・司馬炎という親・子・孫三代について扱います。223年から280年まで。	同上
8	9	13	故事成語で読む三国志	特に「白眉」「泣いて馬謖を斬る」「破竹の勢い」という三つの故事成語に注目し、その語源となった挿話を読んでゆきます。	同上
9	10	4	魏志倭人伝	「魏志倭人伝」が『正史三国志』の(ごく)一部であることはよく知られています。そこに描かれる古代日本の姿について概観します。	同上
10	10	18	吉川英治『三国志』	現代に至るまで日本で『三国志』が広く知られている所以として、吉川英治(1892-1962)の著した小説『三国志』の存在が挙げられます。現代日本における三国志の原点とも言えるこの作品を中心に日本人と三国志の関係について考えます。	同上